

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

横浜から新しい文化を発信

～横浜で生まれた赤ちゃんは、ママ・パパから詩をもらう

詩集「トツキトウカ YOKOHAMA」詩の募集開始

トツキトウカ横浜実行委員会（共催：横浜市こども青少年局）は、市内企業や子ども関連企業等と連携して、妊娠中、または0歳児をもつママやパパの赤ちゃんへのメッセージ（詩）を詩集「トツキトウカ YOKOHAMA」として発行します。（2008年3月発行予定／選考あり）。

妊娠の喜び、出産時の感動、子育ての喜び・戸惑いなど、ママ・パパの気持ちをつづった言葉は、赤ちゃんの、そして家族の一生の宝物になるはずです。ぜひ、今の気持ちをつづってご応募ください。

また、「トツキトウカ YOKOHAMA」の発行を記念して、妊娠中や0～1歳児をもつ子育てファミリーを対象とした「トツキトウカ YOKOHAMA フェスタ」を開催します。

■赤ちゃんに贈る詩の募集

- 応募資格
市内在住、在勤、在学の妊娠中、及び0歳児の赤ちゃんをもつママ・パパ
- 応募方法
WEB 下記応募フォームよりご応募下さい。
<http://www.city.yokohama.jp/me/kodomo/kikaku/kigyuu/>
携帯からのご応募も可能です。
郵送・FAX 必要事項[作品(最大100字)と作品を書いた時期/氏名/〒/住所/電話/年齢/掲載ペンネーム(希望の場合)]をご記入の上、下記までお送り下さい。
〒220-8799 横浜中央郵便局留
「トツキトウカ YOKOHAMA 係」
FAX：03-5548-7505
- ※ 応募は、未発表の作品に限ります。
- ※ ご応募いただいた作品の著作権は、トツキトウカ横浜実行委員会に帰属します。
- ※ お一人様何作品でも応募できます。
- 募集期間 10月1日より2008年1月31日
- 詩集の発行 選考の上、2008年3月予定

■トツキトウカ YOKOHAMA

フェスタ開催

- 妊娠中、子育て真っ最中のファミリーが集うイベントを開催します。
- 対象 原則市内在住、在勤、在学の妊娠中及び0～1歳児をもつファミリー
 - 日時 2007年10月7日(日)
11:00～17:00
 - 会場 大さん橋ホール
(中区海岸通1-1-4)
 - 交通 MM線日本大通り駅下車徒歩7分
※JR桜木町駅より送迎バスを運行
 - 入場 無料
 - 内容 avex 子育て応援ミニライブ(出演：MAY / Mother Ninja / FONK with avex artist academy kids all stars)、サンリオキャラクターショー、最新育児グッズ展示、父親の子育て参加をテーマとしたトークショー、助産師による育児相談等
- ※詳細は下記ホームページで案内予定

【問合せ】トツキトウカ横浜実行委員会 事務局

〒104-0051 東京都中央区佃1-11-8 ピアウエストスクエア2F

株式会社 サン・アート内 TEL：03-5548-7500 FAX：03-5548-7505

e-mail：1010yokohama@sun-art.co.jp

※詳細は、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.city.yokohama.jp/me/kodomo/kikaku/kigyuu/>

【実施主体】 主催/トツキトウカ横浜実行委員会

(委員長 山縣威日：サン・クリニック院長、産婦人科医、日本母乳の会運営委員)

共催/横浜市こども青少年局 後援/横浜市医師会、日本助産師会神奈川県支部

■「トツキトウカ YOKOHAMA」の実施について

1 トツキトウカとは

「トツキトウカ」は、LOVE&PEACE をコンセプトに 2002 年 10 月 10 日にエイベックス・グループの「Marm Project」のひとつとしてスタートしました。妊娠中及び 0 歳児を持つママから赤ちゃんに贈る詩を募集して毎年 10 月 10 日に書籍化、発行するものです。

赤ちゃんを授かったとき、誕生したときの言葉（想い）は、子育てをする中でママの原点となり、子どもへの最高のプレゼントになると全国のママたちから高い評価を得ています。

2007 年 10 月 10 日には、6 冊目がフレーベル館から発売されます。全国のママから寄せられた作品の中から、約 200 編が掲載されます。



■トツキトウカ 2006 版

今回、発行より 5 年を経たことを機に、新たな展開として広く自治体や企業と連携した取り組みを始めることとなりました。その第 1 号として「パパ・ママから赤ちゃんに詩を贈る」という文化を発信していくため、横浜市、市内企業、子ども関連企業と連携して「トツキトウカ横浜実行委員会」を発足し、取り組むこととなりました。

●2006 年応募作品の中から

おなかにそっと手をあてながら、
小さな声で話しかける。

はじめまして。こんにちは。
嬉しいのに、なぜか、涙が流れた……。
(taku 妊娠 6 週)

生まれた
大きな声 力強い声
もっと泣け もっと泣け
(歩海ママ 誕生時)

はじめて聞く 君の心音
『ドッドドッ』
思ったよりずっと速い

君が生きてる証を耳にした時、
パパの心音も速くなった
(はるとのパパ 妻 妊娠 21 週)

1996 グラム
小さな小さな体を抱きしめて
「ごめんね。」
とつぶやいた
(やなせ みわ 生後 3 日目)

2 横浜市の共催について

子育て中の孤立感や育児不安が高まっているとされる中、赤ちゃんの命を授かったとき、命が誕生したときの言葉は、誕生の喜びや感動をいつまでも心に留め、不安や虐待の芽を取り除くことにもつながると考えます。また、父親からも詩を贈ることで、父親の子育てへの参加促進にも効果が期待できます。

そこで、今回、横浜市では、トツキトウカ横浜実行委員会と連携して、詩集「トツキトウカ YOKOHAMA」の発行を進めることになりました。

発行した詩集は今後、小・中・高校生を対象とした命の授業や、思春期講座等、次代のママ・パパの育成への活用も行う予定です。

■ご協賛・ご協力企業、団体を募集しています

トツキトウカ YOKOHAMA は、多数の市内企業、子ども関連企業等にご協賛いただいています。趣旨にご賛同いただける企業の皆様のご協賛を募集しています。

●私たちが応援しています！

株式会社アクタス、株式会社エコホリスティック、カルピス株式会社、生活協同組合コープかながわ、株式会社サンリオピューロランド、株式会社ダッドウェイ、テンプスタッフグループ、ピジョン株式会社、株式会社ファンケル、ワールド・ファミリー株式会社、株式会社ママ・マーケット、モーハウス (五十音順)

●特別協力 エイベックス・グループ